

令和4年度 江戸川区立西葛西中学校 学校関係者評価 最終評価用報告書

学校教育目標	<ul style="list-style-type: none"> ・心身ともに健康でたくましくがんばりぬく生徒 ・よく学び考えて実践する生徒 ・思いやりがあり社会に貢献できる生徒 	<ul style="list-style-type: none"> ・規律を守り責任を果たす生徒 	<ul style="list-style-type: none"> ・目指す学校像 ・目指す児童像 ・目指す教師像 	<ul style="list-style-type: none"> ＜学校＞安心して登校でき(いじめなし)、満足して下校できる学校(成就感・達成感あり) ＜生徒＞何事に対しても一生懸命に取り組み、基礎・基本を身に付けるため授業を大切にしている生徒 ＜教師＞一歩先にチャレンジ(前例踏襲ではなく、一つ工夫を)
前年度までの学校経営上の成果と課題	<ul style="list-style-type: none"> ＜成果＞新型コロナウイルス感染防止対策を万全にし、内容を簡略化して運動会や林間学校・修学旅行等の行事を実施することができた。 教育活動を徐々に通常の状態に戻すように努めた。 ＜課題＞一人一台端末を活用した授業の充実 ・教員のICT活用能力の向上 			

教育委員会重点課題	取組項目	評価の視点	具体的な取組	数値目標	自己評価		学校関係者評価		来年度に向けた改善策	
					取組	成果	成果と課題	評価		コメント
いきいきと学ぶ学校づくり	確かな学力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・7つの主要事業(取組)に対しての学校の組織的な対応による取組の実施・充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・各教科で「確かな学力向上推進プラン」を作成・実施し、実施後の検証とそれをもとにした改善を行う。 ・全国及び都の学力調査の結果を分析し、学力向上推進プラン作成に取り入れる。 ・定期考査前に補習教室を実施する。 ・放課後補習教室(数学)を全学年で実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1学期にプランの作成→2学期に検証・改善を行う。 ・定期考査前補習教室→年3回 ・放課後補習教室→年150回、受講生徒の満足度80%以上 ・年3回のStudy Weekの実施 	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ○定期考査前補習教室、放課後補習教室、Study Weekは予定通り実施できた。 ○放課後補習教室→受講生徒の満足度は80%を超えた。 ●確かな学力向上推進プランの作成が全教科でできなかった。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の学力に関して現状分析をしっかりと行い、学力向上に生かしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 学力テスト等の結果の分析をしっかりと行い、確かな学力向上推進プランの作成・実施を全教科で確実に行う。
	体力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・「運動意欲の向上」に向けた取組の実施・改善 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が主体的に運動に取り組めるような保健体育の授業を工夫し実施する。 ・スポーツテストの結果を踏まえて、強い点は伸ばし、弱い点を補う運動を保健体育の授業及び運動部活動に取り入れる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一人一台端末を活用した授業を週に1回以上実施する。 ・PTやグループ活動を取り入れ、生徒同士で運動に関するアドバイスのやり取りができる授業を行う。 ・毎時間の保健体育の授業や毎日の運動部活動のアップの場面で、補強運動を実施する。 	A	B	<ul style="list-style-type: none"> ○保健体育の授業では一人一台端末の活用を積極的に取り、補強運動も毎時間取り組んだ。 ○授業において生徒同士で教え合う取組をこれまで以上に取り入れた。 ●補強運動の成果が表れる段階にはなっていない。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 保健体育の授業における一人一台端末の活用や補強運動の実施は今後も継続してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 体力テストの結果をしっかりと分析し、補強運動や授業の指導内容に生かし、体力向上を図る。
	読書科の更なる充実	<ul style="list-style-type: none"> ・読書を通じた探究的な学習の実施・充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・朝読書を実施する。 ・調べ学習において資料の収集の仕方や記録の取り方、自己の考えをまとめ表現する方法を指導する。 ・教科等の学習で図書館を利用する。 ・図書ボランティア及び西葛西図書館との連携による学校図書館の整備。 	<ul style="list-style-type: none"> ・朝読書一冊毎日 ・各学年の宿泊・旅行の行事等の際に学校図書館を利用した調べ学習を行う。 ・教科等の学習で年1回以上は図書で授業を行う。 ・週1回のボランティア及び西葛西図書館職員による整備 	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ○朝読書による生徒の読書週間の定着ができた。 ○ボランティア活動による図書館整備は週1～2回実施できた。整備により利用環境が向上した。 ○学校図書館の利用による教科や総合学習における調べ学習で生徒の探求的な学習が推進できた。 ●調べ学習、教科等での利用がすべての教科にまで広がらなかった。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の読書週間の定着をさらに図ってほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・朝読書以外の読書活動の充実を図る。 ・調べ学習や教科等での図書館利用をさらに進める。
特別支援教育の推進	共生社会の実現に向けた教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・ユニバーサルデザインの視点を取り入れた適切な指導の充実 ・エンカレッジルームの活用促進 ・組織交流、交流及び共同学習の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業及び学級指導においてユニバーサルデザインを取り入れた実践を行う。 ・不登校生徒や適応障害のある生徒の別室登校及び居場所としてエンカレッジルームを活用する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全学級で実施する。 ・ステップサポーター及び教員の見守り態勢を整え、別室登校の回数を増やしていく。 	A	B	<ul style="list-style-type: none"> ○不登校生徒及び適応障害の生徒の別室指導、居場所としてエンカレッジルームを有効に活用できた。 ○教室で授業を受けられる生徒を増やすことができ ●ユニバーサルデザインを取り入れた授業や学級経営は、教員によって取組に差があった。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 今後も学校の教育活動全体を通して、共生社会の実現に向けた取組を実践してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1年生で不登校生徒数が増加してしまっので、対策を強化し、別室登校・教室復帰を今まで以上に推進する。 ・ユニバーサルデザインを取り入れた授業や学級経営に関して、ガイドラインを設定して全校で足並みをそろえた取組をしていく。
	子供たちの健全育成	<ul style="list-style-type: none"> ・子供たちの健全育成に向けた取組の強化 	<ul style="list-style-type: none"> ・「江戸川区子どもの権利条例」の理解 ・いじめ防止のための取組強化(道徳授業、人権教育プログラムの活用) ・「hyper-Q」の結果を生かし学級における好ましい人間関係を構築する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・校内研修等において教員の理解を深める。 ・いじめや人権に関する授業を学期に1回以上実施する。 ・6月に実施する「hyper-Q」の結果を分析し、学級指導に生かす。 	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ○道徳の授業において人権にかかわる内容を実施した。 ○各担任が「hyper-Q」の結果を分析し、学級経営に生かした。 ●江戸川区子どもの権利条例に関する研修ができていない。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 家庭や地域との連携を強化し、子どもの健全育成を図ってほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「江戸川区子どもの権利条例」に関する研修を実施する。 ・「人権教育プログラム」を活用した取組を行う。
学校と家庭、地域、関係機関との連携強化	学校関係者評価の充実	<ul style="list-style-type: none"> 教育活動の改善・充実に向けた学校関係者評価の実施・改善 	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染防止対策を徹底しつつ教育活動の保護者・地域への公開を行う。 ・学校だよりを始めとする各種だより、学校ホームページ、一人一台端末等を活用して、保護者・地域に積極的に教育活動を発信する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・年4回土曜公開授業を行う。 ・学校だよりは月1回、学年だよりは週1回発行し、学校ホームページは毎週更新する。 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ○保護者、地域への発信ができています。 ○学校公開、保護者会等は制限なく実施した。 ●運動会、学芸発表会、合唱コンクール等の行事では新型コロナウイルス感染症拡大防止のために、参加者数に制限を設けることができなかった。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 公開授業や行事の参加が再開され、学校の教育活動の様子を知ることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校公開や各行事の公開に関して、なるべくコロナ禍前の状態に戻していく。
	「学校における働き方改革プラン」	<ul style="list-style-type: none"> 「学校における働き方改革プラン」に基づく取組の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT機器の活用によりペーパーレス化を図るとともに業務の効率化を推進する。 ・部活動外部指導員の増員を図る。 ・副校長補佐の導入。 	<ul style="list-style-type: none"> ・朝の打合せ、生徒・保護者への各種アンケート等に一人一台端末を活用する。 ・状態室部の外部指導員を増員する。 ・勤務時間の軽減を促す。 ・年休取得を推進する。 	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ○朝の打合せや教職員間の連絡等で一人一台端末を活用し、ペーパーレス化と時間短縮を図った。 ○状態室部の外部指導員を増員した。 ●働き方改革に関する教職員の意識改革を進めることが十分にできなかった。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 働き方改革をさらに推進して業務の軽減を図るとともに、生徒と触れ合う時間を増やし、先生方のワークバランスも図ってほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT機器を活用し、運営委員会や職員会議においてもペーパーレス化を図る。 ・働き方改革に関する教職員のさらなる意識改革を図る。